

船舶事故調査報告書

平成22年4月22日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵 男（部会長）
 委員 山本 哲 也
 委員 根本 美 奈

事故種類	衝突（防波堤）	
発生日時	不明（平成21年8月24日 05時20分ごろ防波堤に衝突している本船が発見された。）	
発生場所	長崎県対馬市上対馬町比田勝港雷埼灯台から真方位110°480m付近 （概位 北緯34°39.1′ 東経129°29.1′）	
事故調査の経過	平成21年8月24日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、疾患のため行わなかった。	
事実情報	船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等 乗組員等に関する情報	漁船 ^{りょうとく} 漁 徳丸、4.98トン NS3-85413（漁船登録番号）、個人所有 10.52m(Lr)×2.26m×0.77m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数90、昭和56年4月25日 船長 男性 78歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士 免許登録日 昭和50年3月27日 免許証交付日 平成16年8月30日 （平成22年1月31日まで有効）
死傷者等	負傷 1人（船長）	
損傷	船首部圧損	
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、平成21年8月24日04時00分ごろ、一本釣り漁の目的で、対馬市比田勝港網代船だまりを出港し、比田勝港東北東方沖の漁場へ向け航行中、船長が意識を失い、比田勝港西泊沖防波堤に衝突した。 本船は、05時20分ごろ、比田勝港西泊沖防波堤にほぼ直角に衝突した状態でいるところを、帰航中の僚船により発見され、横抱きされて比田勝港西泊船だまりに入港した。 船長は、救急車により病院に搬送された。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北北西、風力 1、視界 良好 海象：波浪 なし	
その他の事項	船長は、搬送された病院で緊急手術を受けた。 診断書には、肝損傷及び腸間膜損傷と診断され、また、意識障害の疑いもあると記載されていた。 船長は、比田勝港網代船だまりの防波堤を出たときの記憶はあるが、その後めまいがして意識がなくなり、比田勝港西泊沖防波堤に衝突したこと	

	も搬送されたことも覚えていなかった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船が比田勝港網代船だまりを出港後、単独で操船中の船長が意識不明となり、比田勝港西泊沖防波堤に向首して航行し、同防波堤に衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、比田勝港網代船だまりを出港して漁場へ向け航行中、単独で操船中の船長が意識不明となったため、比田勝西泊沖防波堤に向首して航行し、同防波堤に衝突したことにより発生したものと考えられる。	